



～ 令和6年度人事院勧告関係 ～

## 北大・賃上げ遡及しないと表明！ 支払われるべき8.4億円が不支給か？

### 賃上げ勧告はある程度予想できたはず なのに北大執行部は何をしていたのか！

組合は12月12日(木)に、賃金・労働条件に関する団体交渉(12月24日(火)実施予定)の事前折衝を大学当局と行いました。その中で大学は、令和6年度人事院勧告について、勧告に基づく給与水準の改定(賃上げ)は行うものの、その実施時期は令和7年4月からとする予定であることを示しました。これは実施時期について、「令和6年4月から」とする人勧を無視して賃上げ開始時期を1年間遅らせるものであり、本来であれば令和6年度中の賃上げにより教職員がもらえる分の給与が丸ごと消滅することを意味しています。このような「賃上げを行う人事院勧告」で遡及を無視するのは法人化して初めてのこと

であり、これまでなんだかんだ言っても基本給部分を国家公務員並に維持してきた北大の、極めて大きな「マイナス方向」への方針転換となります。

また大学は組合に対して、人勧通りに実施した場合のコストを提示しました。それによると、もし人勧通りに遡及して賃上げして支払われる給与は、令和6年度で8.4億円との試算でした。つまり、遡及を行わないことにより、8.4億円分の給与が支払われないこととなります。8.4億円の支出は

確かに少ない額ではありません。しかし、組合は既に大学に対して、北海道大学が「前中期目標期間繰越積立金」という形で既に397億円も積み上げていること、そしてその水準が



他の国立大学と比較しても極めて高い水準にあることを団体交渉資料で既に指摘しています。この積立金は、法人化以降の各年度の余剰金を積み立てたものです。つまり、北大はこれまで人件費削減を訴えながらも、実際には397億円も余剰金が生じるほど「余力」を残していた訳です。それにもかかわらず、今回の8.4億円を教職員に支払えないというのは筋が通りません。

令和6年度に大きな賃上げが起こることは新聞さえまともに読んでいれば新人の事務職員でも容易に予想

できたことです。北大は団交本番で、「賃上げが勧告されるなんて思ってもいなかった」とでも言うつもりでしょうか？賃上げが予想できたにも関わらず北大執行部がこの1年間に何らの手も打たずにいたのなら、それは教職員の賃上げの機会を奪ったことに等しいです。この件については絶対に北大執行部の経営責任が問われなければなりません。

組合では本番の団体交渉を通じて引き続きこの件を追求します。応援をよろしくお願いいたします！

(書記長 岡坂)

## 大卒新採用職員の場合 1年で約43円の差！

今年の人事院勧告では大卒一般職で23,800円の引き上げを勧告し、国家公務員の給与を引き上げる給与法改正案は12月17日に成立しています。人勧通り実施した場合と、北大が示した1年間先延ばしにした場合では1年間でどれぐらいの差額になるでしょうか簡単に計算してみましょう。

- |                           |           |
|---------------------------|-----------|
| 1)月の差額＝(本俸引上げ額＋地域手当)×12月  | ＝294,168円 |
| 2)ボーナス＝(本俸引上げ額＋地域手当)×4.6月 | ＝112,764円 |
| 3)残業代＝月の差額の10%            | ＝29,416円  |

差額は何と約43万円にもなります。こんなことが許されればより北大で働きたいと思う人は減るでしょう。怒りの声を北大執行部に上げましょう！

**団体交渉 12月24日(火) 10時～**

団体交渉の日の朝に門前宣伝を行います。多くの皆さまの参加をお願いします。

# 日本被団協のノーベル平和賞の受賞

今年のノーベル平和賞は日本被団協が受賞し、今月10日にオスロで受賞式が行われました。田中代表理事の演説は、自身の被曝体験に触れつつも核廃絶運動に向けた力強い決意に満ちた内容でした。取材に、これはゴールではなくスタートだと言われていましたが、まさにその通りです。

私は広島市の出身で、近い親族にも複数の被爆者がいました。もう過去形です。直接、話を聞ける機会は結局ありませんでした。被曝体験を他人に話すのはとても辛いことですが、今では後悔しています。親族ほど聞きづらい側面もあります。もうすぐ、被曝体験を話せる被爆者はいなくなってしまう。

私には直接、交流していた被爆者の方がいま

した。札幌市の安井昇一さんです。原爆訴訟でご存知の方もいるかもしれませんが。学部生時代の企画で知る機会を得て、何度か話を聞きました。安井さんは当時の広島に陸軍兵士として駐屯し、直後に被災者の救援に当たりました。多くの被災者が逃げてきた比治山の惨状を話される様子が印象に残っています。当時はイラク反戦運動（2003年）が盛り上がっていた時期で、私を含む学生に力強く反戦を訴えかけていました。

考えてみますと20年前と比べても、国際情勢は大幅に悪化しています。被爆者の生き様を改めて振り返り、自分に何ができるかを考えています。

（執行委員長 清水池）

## 仲間とともにたたかえば成果が出る！ すべての争議解決めざす「いちの日」行動決起集会

すべての争議解決めざす「いちの日」行動決起集会が12月11日開催され、職場での様々な問題で起こる争議関係の報告・交流が行われました。

自交総連からはハイタク業界での賃金不払い問題の取り組みが多いことやライドシェア（白タク）の問題について、東海大教職員組合からは団交拒否しないことや非常勤講師のコマ数削減等に反対するためにストライキを構えてたたかっていること、保育福祉労からは複数の不当配転が不当労働行為と認定されたのにも関わらず法人が中央労働委員会に対して再審査を申し

立てたが完全勝利したこと、恵和会労組からは不当労働行為で勝利しても法人の不誠実さが変わらず、不当労働行為は絶対許さない立場でたたかい続けるとの報告がありました。また、組合の仲間の支援でパワハラによる複数回の休職から職場復帰できた報告もありました。

大島から北大の宿舎問題についてこの間の大学の動きや労働委員会でとりくみや和解したこと、障がいを持った非正規職員の雇止め問題での裁判と和解などについて報告しました。

（書記局・大島）



報告する東海大学教職員組合の代表



# 大学フォーラムが日本学術会議の「法人化」をめぐる緊急声明を発表

大学フォーラムは12月17日、緊急声明「日本学術会議の『法人化』をめぐる深刻な疑念 —有識者懇談会『最終報告』の危険性を訴える—」を発表し、オンライン記者会見を行いました。

マスコミ  
報道

[学術会議、首相は任命せず 「監事」新設し関与残す…報告書案](#) (朝日新聞)

[活動内容「国民に説明を」 学術会議法人化へ報告書](#) (北海道新聞)

[学術会議 国の介入強化 有識者懇最終報告 学術会議側は再考要求](#) (しんぶん赤旗)

教職員共済 厚生労働省認可 教職員共済生活協同組合 大学事業所

HOME 教職員共済 大学事業所のご案内 ご加入いただける方 取扱い共済一覧 自動車共済の 変更手続き

自動車共済 キャンペーン応募期間 2024年12月1日～2025年2月28日

イメージキャラクター 轟むりん

お見積りキャンペーン

自動車共済の資料 & 見積書を請求いただくと、  
もれなくハーバルバスパウダー(1個)をプレゼント!

自動車共済 お見積りキャンペーン

教職員共済 大学事業所のご案内

おすすめ共済① 月掛金900円で12の保障

おすすめ共済② 死亡や障害に備えたい

おすすめ共済③ 入院や先進医療に備えたい

おすすめ共済④ 自動車事故に備えたい

[教職員共済大学](#)に加入しませんか、安い掛け金で生命保険や自動車保険等8つの共済に加入できます。総合共済にはぜひお入りください。総合共済は月々900円の掛金で12の保障(補償)が受けられます。



## 【当面する行事など】

詳細は「[諸団体の行事](#)」



- 12/22 『水俣曼荼羅』自主上映会&原一男監督トークイベント  
10:00～学術交流会館小講堂
- 12/24 賃金など団体交渉 10:00～事務局
- 12/28 年末・年始のため1月5日まで書記局閉鎖
- 1/7 執行委員会 18:30～
- 1/10 いちの日行動 18:20～JR 札幌駅南口広場
- 1/10 札幌キャンパス過半数代表者選挙・投票開始 ～1/24
- 1/19 道労連評議員会 12:30～17:15 かでる27
- 1/20 執行委員会 18:30～予定
- 1/28 札幌キャンパス過半数代表者選挙・開票
- 2/5 道公務共闘定期総会



水俣曼荼羅

原一男監督最新作

MINAMATA MANJURO

372分で物語る、20年の時と場所

自主上映会+原一男監督トークイベント

- ・日時：2024年12月22日(日) 開場9時、開演10時、終了19時15分予定
- ・会場：北海道大学 学術交流会館 小講堂
- ・料金：一般2,000円 学生1,500円
- ・上映：お茶の間放映の一環として、お茶の間放映会と共同開催いたします。
- ・チケット：ポータルにて販売 / 当日販売
- ・交通：お茶の間放映会、最寄り駅までのご案内。

札幌の劇場で一度上映された後、3日間限定の上映会で上映されたことは一度も観ることができなかった。鬼才・原一男監督の最高傑作。希望の再上映！  
20年の歳月をかけて磨かれた「水俣曼荼羅」。映画12年の映画人生の原点。最新制作に込められた想いと情熱が、今もなお輝いている。一人ひとりの心に響き、人を動かす作品に仕上がりました。

主催：北海道大学学術交流会館 学術交流会館 学術交流会館 学術交流会館  
協賛：道庁労働政策課 道庁労働政策課 道庁労働政策課 道庁労働政策課  
お問い合わせ：info@kaiyukai.or.jp / Facebook: kaiyukai / Instagram: kaiyukai

**組合員を増やし、労働条件・職場環境改善を進めましょう**